

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第4回豊島区国際アート・カルチャー都市懇話会
事務局(担当課)		文化商工部文化デザイン課国際アート・カルチャー都市推進 グループ
開催日時		平成29年4月25日(火)14時30分～16時30分
開催場所		議場(本庁舎8階)
議 題		(1)東アジア文化都市2019の応募に向けた検討状況について (2)池袋ブランディング・シティ戦略について
公開の 可否	会 議	■公開 □非公開 □一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	■公開 □非公開 □一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	近藤委員(会長)、里中特別顧問、野村特別顧問、福地特別顧問、 太下委員(副会長)、岸井委員、北郷委員、熊倉委員、鈴木委員、 高萩委員、中村委員、平賀委員、前田委員、吉本委員、青木委員、 猪狩委員、小林委員、知久委員、宮崎委員
	区 側 出席者	区長、副区長、代表監査委員、政策経営部長、都市整備部長、東 アジア文化都市推進担当課長、再開発担当課長、交通・基盤担当 課長
	事 務 局	国際アート・カルチャー都市推進担当部長、国際アート・カルチ ャー都市推進担当課長

審 議 経 過

No.1

[開会]

会 長：第4回豊島区国際アート・カルチャー都市懇話会を開会する。

[区長挨拶]

1. 議事

(1)東アジア文化都市 2019 の応募に向けた検討状況について

(2)池袋ブランディング・シティ戦略について

[事務局：懇話会資料4-1 東アジア文化都市 2019 の応募に向けた検討状況について、資料4-2 池袋ブランディング・シティ戦略の策定について説明]

2. 意見発言

会 長：ご意見、ご感想等をお願いしたい。

委員A：豊島区の文化を中心としたまちづくりが、アジアに広がりを見せるのはとても良いことである。これまでも文化交流は、企業間で常に行われていたが、自治体や国の支援はあまりなくようやく着手し始めた感がある。これから豊島区に施設ができていく中で、民間企業が日中韓の交流を行えるようになると、理想ではあるが、本当の意味での文化都市がスタートし、文化交流が進んでいく。

委員B：商店街の交流をはじめ、お互いの文化交流をしながら、何かイベントができれば楽しいと考えている。

委員C：池袋には文化として、アニメ・劇場・サブカルチャーという代表的なものがあり、私の大学にも、日本に学ぶため、中国の優秀な留学生がたくさん押し寄せている。かつて日本は、ヨーロッパからきた現代美術などに影響を受けていたが、今度は日本から海外に影響を与えて、都市構想を発信できると良い。

委員D：東京芸術劇場では、お客の増減はあるが毎年京劇を開催している。韓国とは、明洞にある国立劇場と共同制作する環境が続いている。人口については、昼間人口や乗り換え人口を見せたほうが良い。

委員E：豊島区が今まで積み上げきた文化等の資産を有効にアピールしていけば、強いメッセージとなる。

委員F：政治的なものではなく、文化でつながることは素晴らしいことである。これからも、次世代を中心に、日本の良いところを海外に多く紹介して、海外からも様々な楽しい文化を吸収することで、世界平和につながってほしい。

委員G：人口が少ないのは弱点かもしれないが、その分、豊島区内にある全劇場に収容可能な人数を提示してみせることで、豊島区の優位性をアピールすることはできる。アニメソングのライブは、政治的な事情に影響されずにずっと中国や韓国で続いてきている文化だ。マンガやアニメ、アニメソングの分野は豊島区の持っている強みである。その点を含め、2019年の東アジア文化都市が豊島区に来て当然という雰囲気を、マスコミに発信することで、できるだけ早くから醸成したほうが良い。

委員H：日本ではいわゆる「内なる国際化」が進んでおり、区内在住外国人に着目した点は、非常に今日的で素晴らしい。文化庁による京都移転に向けた緊急提言の中でも、在留外国人も含めた社会的包摂について新たに触れられている。2019年の開催は時宜を得たタイミングだと思う。また一方、豊島区が進めている様々な活動を定着させていくために、人的インフラやネットワークを区内に作る機会になると良い。生活伝統文化部門を担う「としま未来文化財団」を基盤にしてNPOや一般社団法人組織との連携を強化することが必要である。

委員I：区内在住の中国や韓国のほうが非常に多くいることから、まちづくりに対して、彼らにとっても在住しているアイデンティティーのようなものがあって、何か地域に貢献したいという気持ちが高まっている。去年の熊本大震災のチャリティーコンサートの成功事例のように、もう一つ踏み込んだ協力を得られる時機である。池袋モンパルナスは、戦前は多くの中国や韓国の画家たちが日本留学中に互いに交流し刺激し合ったように、そもそも切磋琢磨するまちが池袋の特徴ではないか。東アジア文化都市を進める際に、池袋モンパルナスのこうした歴史的側面についても新たな研究を進め、日中韓相互の歴史を発信できると良い。

委員J：町会連合会は、歓迎して応援していく立場である。

委員K：IOCは、オリパラのレガシーとして、平昌から北京までの一連の五つの五輪大会を結び付けるコンセプトがあると良いと考えている。同様なかたちで、東アジア文化都市もこのような結び付きをしていく姿勢を持つことが大切である。IOCが文化事業の位置づけに重きを置いているからこそ、東アジア文化都市の開催を通じて、豊島区、池袋が文化都市として東京の中で一際光っているということを確認してもらい、韓国や中国に引き継いでいく仕組みを作っていくことが2020年に向けた意味であると言える。

委員L：東アジア文化都市は、都市交流や文化交流の意義が大いにある事業である。これを一過性のイベントで終わらせず、この経験を次につなげて東アジアとの交流を継続していくスキームを組み立ててもらいたい。人口が小規模であることは、逆にアピールできると考えたほうが良い。高野区長にはその点も含めプレゼンに力を入れていただきたい。

委員M：区民がアジアの人たちとの交流が実感できるイベントをたくさん設けていただきたい。住民レベルの文化交流が非常に大切である。それから、高野区長には、区

をしっかりアピールしていただきたい。

委員N：文化事業は、次の世代の子どもたちがしっかりと受け継いで、継続することが一番である。また、学校教育と連携しながら、子どもだけではなく御父兄も一緒に取り組んで進めることが大切だと思っている。そして、子どもたちが自ら、「生きる力」、「芸術の力」、「文化の力」を通じて、しっかりと次につなげていくことが何よりも素晴らしいと思う。

委員O：一点目は、「東アジア文化都市大学連携部会」のような提案は今までに無く、大変素晴らしい。具体的には、大学の先生や学生が参加し、東アジア文化都市そのものを研究対象や事業のフィールドにしていくことである。2004年のバルマーレポート以降、ヨーロッパ中の都市が欧州文化首都になりたいと思うようになった。これと同様に豊島区が東アジア文化都市を評価しブランド化していくことは、素晴らしい付加価値となる。二点目は、分野とする三つの柱の中に、「生活文化」が入っている点が非常に素晴らしい。この「生活文化」の中に、食文化も是非入れていただき、料理人の交流などの事業もされたい。そもそも東アジア文化都市は、ASEAN諸国の文化交流が、当初から伏線となっており、ASEANとも交流が進むようなプログラムの視点も必要である。豊島区の場合は、食文化は良いツールになると思うので、そういう観点も入れていただきたい。三点目として「レガシー」である。文化プログラムの成果をアーカイブで引き継いでいく仕組みを豊島区から提案できると、東アジア文化都市に対して大変な貢献となる。あわせて、ノウハウのレガシーも大切である。東アジア文化都市の事業に携る豊島区やとしま未来文化財団の職員は、相当のノウハウが蓄積される。この機会に「地域版アーツカウンシル」組織の創設、地域で文化振興を担う主体であるとしま未来文化財団にとって大きな契機になるようなレガシーを残していただきたい。

委員P：文化交流は、人の心に与える影響が大きく素晴らしい。とりわけ、マンガに関しては、アジア諸国のみならずヨーロッパも、日本に一目置いている。東アジアとの関わりで言うと、経緯として1994年に韓国の漫画家たちと親交を持ち、民間の文化交流を始め、1996年には各都市が手を挙げてマンガサミットを行った。今では五つの国と地域が理事国となり、さらに他のアジアの国々、ヨーロッパも加わってイベントを行っている。実施場所でいうと、日本では、東京都、福島県いわき市、横浜市、京都市、鳥取市、中国では北京で、台湾は台北、新竹、淡水で、韓国はプチョン（富川）やデジョンなど、それぞれ市単位で実施している。漫画を通じて相互の考えを共有し、今後の漫画界の課題解決について話し合い、感性を共有することで相互の理解につながった。テーマは、「食文化」や「著作権の問題」、「笑顔」などを取り上げている。開催地では、漫画家の原稿の展示会、漫画の将来性や国内の出版事情などのフォーラム・シンポジウム、漫画教室、イメージキャラクターや作品募集などに取り組んだ。レガシーとして、鳥取で国際漫画賞を設けた。豊島区の人口規模が小さいが、都市が主体となった文化交流

は、規模が小さければ小さいほど、お互いの理解度が進み、長い目で見ると発展の基盤になる。中国の若い人たちの間では池袋の知名度が上がっている。むしろ、昼間人口や通過する人、遊びに来る人の圧倒的な数の多さをもとにアピールしてほしい。

委員Q：東アジアの中の豊島区といえば小さいが、豊島区の中の東アジアは大きい。豊島区の中で、東アジアを挑戦していく方向性は間違っていない。良いものを作れば必ず人が集まる。芸術文化の表現の場として、これほど恵まれたまちはないと思う。国際アート・カルチャー都市として成長していくには絶好の場所となる。舞台芸術との違いはあるが、放送文化も懇話会に取り入れてほしい。

委員R：一区民としては、何とか採択に向けて努力をしていきたい。今国会では、文化芸術振興基本法の改正案が上程をされようとしている。法案では、地方公共団体が文化芸術推進基本計画を策定するという新たな規定が加わっており、豊島区の国際アート・カルチャー都市構想は、この国の施策を先取りしている。まさに、先進性に富んだ豊かなまちづくりを目指していると確信した。国際アート・カルチャー特命大使の皆様も胸を張って自信と誇りを持って、今後も充実した活動を行っていただきたい。

会長：第一は「豊島区らしさをいかに出す」かである。消滅可能都市とまで言われた豊島区がここまで勢いづいていることは、非常に大きな力であり、2019年の決定に大きな説得力があると思う。決定すれば、中韓あるいは世界に発信していく上で、極めて強いメッセージになる。第二はレガシーである。鍵は、2019年の東アジア文化都市で豊島区が始めた事業が、そののち素晴らしいものとして成長していることだと思う。日中韓の子どもたちが、共同で何かを「創る」、「演奏する」、「踊る」、「漫画を描く」、「舞踊をする」というようなことから始め、お互いにホームステイをしていくなど、子どもたちを参画させることは、5年、10年、20年先もレガシーとして残るので、そのような仕組みを考えていただきたい。第三は、1,200人を超える特命大使である。豊島区ほど、文化や芸術活動によるまちの活性化に、区民を直接巻き込んでいる自治体はおそらく全国にはない。特命大使が色々なかたちで活躍し、同じような区民グループを中韓でも作り、交流をすることも良い。一般の人や子どもたちが、色々な枠や外の世界のしがらみを超えて行き来しあうことが、本当の文化交流である。

委員S：採択されたことを前提で話をすると、準備がとても難しい事業であり、事務局となる豊島区職員は相当苦勞すると思う。しかしこれが、良い経験となってある種のレガシーにもなる。また当該事業は、国家プロジェクトではありながら国の予算は潤沢ではない。予算が多ければ良いわけではないが、採択後も色々な大変なことがあるので何とか乗り切り、東アジアに開かれた文化都市になってもらいたい。

委員D：池袋は、鉄道との関わりが深いと思う。韓国と中国でも鉄道との関わりが深い都

市が選ばれると思うので、鉄道文化をうまく宣伝していくと、かなりユニークな展開ができる。

委員Q：池袋ブランディング・シティ戦略については、ブランドは非常に大切だと思う。地名をつけたブランドは取り分け大切であり、「池袋ブランディング・シティ戦略」というネーミングの方向性は正しいと思う。

委員A：公道占有や民間所有の公開空地、公園における利用制限の解除が非常に重要である。可能な限り有効かつスピーディーに解除していくことが今後のキーワードになる。

委員M：補助金は出るのか。

事務局：一定の制限や条件はあるが、補助金や金融支援が受けやすくなる。ハレザ池袋を含めた二つのプロジェクトが税制優遇を受けている。

区長：特定都市再生緊急整備地域指定に加えて、国家戦略特区の指定やアジアヘッドクォーター特区も揃っている。この状況から「池袋ブランディング・シティ戦略」が取り組めるような状況になった。これは、補助金ではなく企業等に様々な優遇をもたらすものである。

委員I：サイエンスはどのようなイメージを持ってここに書かれているのか。

事務局：ビジネスとアート・カルチャーとをつなげるための触媒になりうるものとしてサイエンスという視点を導入している。

委員D：稽古場はそれほど綺麗でなくても構わない。使ってよい場所を探す。見つけた場所が、短期間の使用であっても利用できる仕組みがない。アーティストや科学者たちが魅力だと思うまちにするためにも、このような仕掛けをしていただきたい。

委員K：池袋が渋谷と新宿副都心と10分足らずの公共交通でつながっている点は、世界にあまりないことである。新宿や渋谷が池袋に近くて、多様な文化がある点も、うまく発信していただきたい。

[区長挨拶]

[事務局：事務連絡を説明]

会長：それでは、以上をもって、第4回豊島区国際アート・カルチャー都市懇話会を終了とする。

[終了]

提出された資料等	懇話会資料4－1 東アジア文化都市 2019 の応募に向けた検討状況 懇話会資料4－2 池袋ブランディング・シティ戦略の策定について
----------	---